

事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：地域密着型通所介護施設（デイサービス）
譲渡者：日々、勉強堂株式会社
譲受者：犬塚 伸仁氏（経営法人 株式会社キャピタルデザイン）
譲渡方法：事業譲渡
引継ぎ期間：令和5年3月～令和5年12月（初回面談～事業譲渡契約書調印）
支援方法：三次対応（センター内マッチング）

事業引継ぎまでの経緯

- ・譲渡側である日々、勉強堂株式会社は千葉県茂原市と大網白里市に、「KENKOウォーク」の名称で、地域密着型通所介護施設（デイサービス）を2か所運営していた。
- ・自立促進型の通所介護で1日3時間の半日デイサービスは少ないことから、紹介や口コミでの利用者が多く、安定した運営を行っていた。
- ・一方で、後継者の問題や介護の人材不足など、長期的な運営に対する懸念もあり大網店の譲渡を検討、当初は仲介会社と契約して探索をするが、譲受側の管理者の確保が課題となり成約に至らず、当センターに相談するに至った。
- ・依頼を受けた当センターでは複数の候補者に打診、その中でコンサルティング会社を営み、当センターに譲受希望者として登録していた犬塚伸仁氏（50）が関心を示し、当センターで両者のマッチングを設定、令和5年8月に当センター職員同席のもとトップ面談を実施した。その後譲受側で管理者の確保に目途が立ったことから、事業譲渡に係る基本的方向性に合意。約4ヶ月の折衝を重ねて同年12月に譲受側の経営法人与事業譲渡契約書の締結に至った。
- ・譲渡側は、施設を利用する50余名の顧客へのサービス維持と11名の従業員の雇用を守ることができた。譲受側も、介護という新たな事業分野に進出が可能となり、イメージアップと業容拡大が期待できるなど、共に有意義なM&Aが成立した。

事業引継ぎ支援センターでの対応内容

- ・譲渡希望者としてDB登録、及びセンター内探索によるマッチング支援。
- ・譲渡希望者への専門家を活用した譲渡契約書のリーガルチェック。



KENKOウォーク

機能訓練特化型 3時間デイサービス



左側から譲受側の犬塚伸仁氏、管理者の加瀬輝久氏、譲渡側の門脇裕社長